

令和7年度 中央区地域力向上事業(助成事業) 事後評価【東地域】

No.	事業名	団体名	評価					総事業費	市執行額 (補助金額)	採択回数
			達成度	活用度	貢献度	支援の 妥当性	費用対 効果			
1	FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ	FAMIFESコミュニティ	A	A	A	B	B	854,865円	341,000円	2回目
2	「みんなの二宮金次郎」の漫画本の増補改訂版の作成と配布	報徳運動推進協議会	B	A	B	B	B	2,000,000円	800,000円	2回目
3	大好き♡笠井文化祭	大好き♡笠井文化祭 実行委員会	A	A	A	B	B	257,400円	60,000円	3回目
4	地域活性化 健康・福祉の向上イベント	医療法人社団 岡崎会	B	A	B	B	B	358,886円	149,000円	1回目
5	あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～	特定非営利活動法人 積志かがやきカフェ	A	A	A	B	B	181,650円	90,000円	1回目
							合計	3,652,801円	1,440,000円	

地域力向上事業の評価基準(浜松市地域力向上事業実施要綱第10条第2項 別表2を編集)

評価項目	評価		
事業目的の達成度	A 高い	B 普通	C 低い
地域資源の活用度	A 高い	B 普通	C 低い
地域への貢献度	A 高い	B 普通	C 低い
財政支援の妥当性	A 高い	B 普通	C 低い
費用対効果	A 高い	B 普通	C 低い

助成事業 No. 1

＜ 令和7年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1) 事業名	FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ	(2) 採択回数	2回目 (補助率40%以内)										
(3) 実施団体名	FAMIFESコミュニティ												
(4) 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの活躍の場を設け、多様な才能・個性を伸ばす機会を提供し、自己肯定感を高め、自他ともに認め尊重し合う機会を作る。 ・東地域の子育て世代が気軽につながり、情報を得て、交流し、子育て世代の活性化を図る。 ・子育ての楽しさを伝え、東地域でつながり子育てを楽しむ機会を設ける。 												
(5) 事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が交流する場を提供することができた。 ・こどもたちの発表の場を設けることができた。多様な才能・個性を伸ばす機会を提供できた。 ・様々な教室で学ぶこどもたちの日頃の努力の成果を発表できた。 ・こどもたちの世界を広げるきっかけを作ることができた。 												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">イベント名</td> <td>FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ</td> </tr> <tr> <td>実施時期</td> <td>令和7年11月23日(日)</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>浜松市総合産業展示館</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>約4,000名</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生の年代向けの教室 ・工作、料理のワークショップやハンドメイド体験 ・ステージでのパフォーマンス(子どもによるダンス、演奏、チャリティーデイング等) ・遠州織物と古着を着用してファッションショー </td> </tr> </table>				イベント名	FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ	実施時期	令和7年11月23日(日)	実施場所	浜松市総合産業展示館	参加人数	約4,000名	内容
イベント名	FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ												
実施時期	令和7年11月23日(日)												
実施場所	浜松市総合産業展示館												
参加人数	約4,000名												
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生の年代向けの教室 ・工作、料理のワークショップやハンドメイド体験 ・ステージでのパフォーマンス(子どもによるダンス、演奏、チャリティーデイング等) ・遠州織物と古着を着用してファッションショー 												
(6) 総事業費	854,865円	(7) 補助金額	341,000円										
(8) 評価	項目	ランク											
		A	B	C									
	1 事業目的の達成度	(高)	普通	低い									
	2 地域資源の活用度	(高)	普通	低い									
	3 地域への貢献度	(高)	普通	低い									
	4 財政支援の妥当性	高い	(普通)	低い									
5 費用対効果	高い	(普通)	低い										
(9) 意見等	<p>1 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士の情報交換が行われ、「子育て世代の交流」を実現している。 ・来場者が次回以降の参加を検討するなど、交流の規模が拡大することが期待できる。 ・参加者数が計画(1,000名)を大きく上っており、事故等もなくイベントが開催できたこと、多くの地域住民の交流が実現できたことから達成度は高い。 <p>2 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体も東地域の子育て世代の住民から構成され、東地域に拠点を置く習い事教室など親子で楽しめる・学べるワークショップを開催したことを評価する。 <p>3 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的のひとつである、東地域におけるこどもたちの活躍の場の提供という観点からすると、地域に貢献していると考えられる。 ・地域でできる習い事として複数の選択肢が提供される機会であり、子育て支援の情報提供の場となっている。 <p>4 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の交流は子育てしやすい地域づくりに資するものであり、地域の個人、団体、事業所など幅広い連携に加え、行政の支援も必要である。 <p>5 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度を大きく上回る参加者があったことを評価し、本イベントにより生まれたつながりが様々な地域活性に貢献することを期待する。 ・来場者アンケートには、イベントの開催に対する感謝や複数の習い事の発表を閲覧できる貴重な機会としての評価など肯定的な意見が寄せられた。 												

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	FAMIFES・はままつ FAMILY マルシェ
事業主体名 (共催、後援、協力等)	FAMIFES コミュニティ 協賛・木村産科婦人科、総合予備校クラ・ゼミ 後援・SBS 静岡放送、静岡第一テレビ、浜松市教育委員会
実施時期	令和7年5月1日（水）～ 令和7年12月21日（日） イベント開催日：令和7年11月23日（日）
実施場所	浜松市総合産業展示場（第1展示場・屋外スペース）
参加人数	団体スタッフ 8名、参加者 4000名
事業の内容	<p>*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。</p> <p>子どもの成長支援、地域とのつながりづくり、親子が安心して集まれる場の創出、子どもの自己表現の場づくりとして、ステージにて、こどもたちのダンス、古着を使ったファッションショー、歌、演奏などの発表をした。また、様々なブースを設置し、習い事や教室、ワークショップなどを開催した。育児講演や将棋講演も開催した。</p>
事業目的の 達成度	<p>*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。</p> <p>こどもたちの発表の場を設けることができた。多様な才能・個性を伸ばす機会を提供できた。様々な教室で学ぶこどもたちの日頃の努力の成果を発表できた。こどもたちの世界を広げるきっかけを作ることができた。</p> <p>親子で様々な機会に触れることができた。浜松の子育て世代が親子でつながり、交流し、子育て世代の活性化をはかることができた。</p>
地域資源の 活用度	<p>*区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。</p> <p>東地域のスキルを持った子育てママさんの活躍の場を作ることができた。遠州織物と古着を使ったこどもたちのファッションショーも行うことができた。</p>
地域への 貢献度	<p>*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。</p> <p>親子でさまざまな機会に触れられる。子育て環境が充実していることを知ることができる。子育ての楽しさと難しさを若い世代に知ってもらえる。子育て世代がつながりをもつことができ、住みよい地域作りの一助となったのではないかと。</p>

<p>財政支援の 妥当性</p>	<p>*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。</p> <p>地域の教室やお店を知ってもらう機会を作れた。個人では難しい高額な会場費とステージなどの費用を補助してもらうことができた。</p>
<p>費用対効果</p>	<p>*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。</p> <p>経費 85 万 補助金 34 万</p> <p>来場者 1 人が使う金額の平均は 500～1500 円程度として。仮に 1,000 円/人とすると：$4,000 \text{ 人} \times 1,000 \text{ 円} = 400 \text{ 万円}$の経済効果</p> <p>→ 行政の支援額 34 万円に対して 約 12 倍の地域波及効果。</p> <p>十分な効果があったのではないかと考える。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。</p> <p>来年度も実施したい。来年度は来場者数 1.5 倍の 6000 人と見込んでいる。</p>
<p>備考</p>	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	341,000	341,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	854,865	854,630	30,035	△ 29,800	

2 支出の部

単位：円

区分	補助 対象 ※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)	
				増	△減		
報償金	○	10,000	10,000			講演謝礼	
賃金	○	41,006	50,000		△8,994	スタッフ 5,000 円 ×7 名 6,006×1 名	
需用費	食料費	○	27,244	30,000		△2,756	来場者に配付したお菓子
	印刷製本費	○	29,745	15,000	14,745		パンフレット印刷
	消耗品	○	41,249	3,000	38,249		会場装飾品等
	郵便料	○	10,250	5,000	5,250		パンフレット郵送費

役務費	手数料	○	2,860	2,000	860		振込手数料 @550円×4=2,200円 @220円×3=660円
	保険料	○	17,750	10,500	7,250		イベント保険
	広告 宣伝 費	○	7,500	0	7,500		パンフレット掲載費 Instagram 宣伝費
委託料		○	176,000	135,000	41,000		駐車場警備
使用料及び 賃借料		○	491,261	594,130		△ 102,869	会場使用料など
計			854,865	854,630	114,854	△ 114,619	
うち補助対象経費			854,865	854,630	114,854	△ 114,619	

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 2

＜ 令和7年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1)事業名	「みんなの二宮金次郎」の漫画本の増補改訂版の作成と配布	(2)採択回数	2回目 (補助率40%以内)									
(3)実施団体名	報徳運動推進協議会											
(4)事業の目的	・報徳の(至誠・勤労・分度・推譲)心を育み、有能な人材を輩出する。											
(5)事業の成果 (内容)	<p>・令和6年に作成した「みんなの二宮金次郎」の増補改訂版を作成し、昨年配付した東地域内小学校に加え、市内・市外の希望者にも対象を拡大して配布した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">題名</td> <td>親子で学ぶみんなの二宮金次郎</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">体裁</td> <td>A4判／グレースケール／全70ページ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> <p>【漫画編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56ページで構成 ・二宮金次郎の人生と報徳精神について紹介している。 ・新たにかささぎ大橋や十湖百句塚が登場するほか、十湖賞俳句大会について取り上げた。 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページで構成 ・ワークシート並びに二宮金次郎関連年表及び関連史跡等が掲載されている。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">発行部数</td> <td style="text-align: center;">3,000部</td> </tr> </table>				題名	親子で学ぶみんなの二宮金次郎	体裁	A4判／グレースケール／全70ページ	内容	<p>【漫画編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56ページで構成 ・二宮金次郎の人生と報徳精神について紹介している。 ・新たにかささぎ大橋や十湖百句塚が登場するほか、十湖賞俳句大会について取り上げた。 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページで構成 ・ワークシート並びに二宮金次郎関連年表及び関連史跡等が掲載されている。 	発行部数	3,000部
題名	親子で学ぶみんなの二宮金次郎											
体裁	A4判／グレースケール／全70ページ											
内容	<p>【漫画編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56ページで構成 ・二宮金次郎の人生と報徳精神について紹介している。 ・新たにかささぎ大橋や十湖百句塚が登場するほか、十湖賞俳句大会について取り上げた。 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページで構成 ・ワークシート並びに二宮金次郎関連年表及び関連史跡等が掲載されている。 											
発行部数	3,000部											
(6)総事業費	2,000,000円	(7)補助金額	800,000円									
(8)評価	項目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	(普通)	低い								
	2 地域資源の活用度	(高い)	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	(普通)	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	(普通)	低い								
	5 費用対効果	高い	(普通)	低い								
(9)意見等	<p>1 事業目的の達成度 ・人材の輩出という事業目的は長期的なものであり、現時点での評価は難しいが、そのきっかけ作りには資するものである。</p> <p>2 地域資源の活用度 ・報徳思想と東地域のつながりを紹介するページを増補しているため、地域資源の活用度は高い。</p> <p>3 地域への貢献度 ・東地域の小学校を中心に冊子を配布することは、よりよい地域づくりにソフト面から貢献している。</p> <p>4 財政支援の妥当性 ・報徳思想にゆかりのある地域として東地域をとりあげる本事業は、地域資源の掘り起こしと地域の特徴に光を当てた事業として評価でき、公共性が認められる。</p> <p>5 費用対効果 ・昨年度のアンケート結果を内容に反映することで、読者の期待に沿ったものを作成することができた。</p>											

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	「みんなの二宮金次郎」の漫画本の増補改訂版の作成と配布
事業主体名 (共催、後援、協力等)	報徳運動推進協議会 (後援：浜松市、浜松市教育委員会)
実施時期	令和7年 7月 1日(火) ～ 令和8年 2月 28日(土)
実施場所	東地域管内(配布先には市内・市外含む)
参加人数	団体スタッフ 12名、参加者 40名
事業の内容	*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。 令和6年に作成した「みんなの二宮金次郎」の増補改訂版を作成し、昨年配布した東地域内小学校に加え、市内・市外の希望者にも対象を拡大して配布する。
事業目的の達成度	*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。 目的である「報徳の(至誠・勤労・分度・推譲)心を育み、有能な人材を輩出する。」を達成するために、SDG'sの取組みの表現を小学生レベルに合わせる検討、描き直しなどの時間を要したが、多くの皆さんの御教示をいただき、大変満足のできる作品となったと思う。 昨年度のアンケート結果を以下のように反映した。 ▶ 「君ができることで他の人が楽になることは思うことは何だろうか?」という問いに対し、報徳思想との親和性がある「SDG's」を挙げる声があったため、今回の改訂版において大きく取り上げた。 ▶ 「君にとっての仕事はどんなイメージ?」という問いに対し、「大変」や「つらい」など消極的な回答が多かった。今回の改訂版においても報徳思想を構成する「勤労(よく働くこと)」を取り上げ、その素晴らしさを伝える内容とした。 ▶ 「君は君の人生を通して未来の人に何を残したい?」という問いに対し、「受け継がれてきた歴史・伝統・文化」を挙げる声があったため、今回の改訂版においては、特に東地域の歴史に関するページを新たに挿入した。
地域資源の活用度	*区内のどのような地域資源(特産品、自然、文化資産、人材など)をどの程度活用できたか記入してください。 松島十湖に関するページを新たに挿入し、俳句を通して人づくりをした実績や、各小学校の金次郎像の有無の調査を展開した。
地域への貢献度	*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。 二宮金次郎や浜松市の先人たちを扱う漫画本を配布することで、報徳(至誠・勤労・分度・推譲)の心を大切にして産業を起し、地域に密着した学校の教育活動に貢献していると思う。

<p>財政支援の 妥当性</p>	<p>*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。 報徳運動という切り口で子どもたちのための漫画本を作成することで、行政や教育現場とは異なる手段で有能な人材の育成に貢献できたと考える。</p>
<p>費用対効果</p>	<p>*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。 出版業者への費用が多くかかったが、児童や保護者の笑顔により救われた感を持った。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。 市内全域の報徳人を紹介するために事業の継続を希望しますが、経済的負担が大きいので検討したい。</p>
<p>備考</p>	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	800,000	800,000	0	0	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	2,000,000	2,000,000	0	0	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)	
				増	△減		
需用費	印刷製本費	○	1,290,800	1,290,800	0	0	原版制作 300,800 円 (版下 64p×4,700 円) 同時印刷 990,000 円 (330 円×3,000 部)
	消耗品	○	80,200	159,200	0	△79,000	封筒、段ボール、コピー用紙など
役務費	郵便料	○	129,000	150,000	0	△21,000	レターパック
委託料		○	500,000	400,000	100,000	0	企画 50,000 円 デザイン 100,000 円 編集 250,000 円 追加補正 100,000 円
計			2,000,000	2,000,000	100,000	△100,000	
うち補助対象経費			2,000,000	2,000,000	100,000	△100,000	

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 3

＜ 令和7年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1)事業名	大好き♡笠井文化祭	(2)採択回数	3回目 <small>(補助率25%以内)</small>	
(3)実施団体名	大好き♡笠井文化祭 実行委員会			
(4)事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・笠井地区の活性化をするとともに、郷土愛を育む。 ・こどもから大人まで笑顔で仲良く暮らせる町づくりを目指す。 			
(5)事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の開催により、地域の人々が交流する場を創出できた。 ・特設ステージにおいて園児から大人までが様々な発表(歌やダンス等)を行った。 			
	イベント名	大好き♡笠井文化祭		
	実施時期	令和7年11月3日(日)10~16時		
	実施場所	笠井観音福来寺		
	参加人数	約3,320名		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ステージでの発表、日ごろの練習の成果の披露 ・だるま会館での作品展示(浜松東高校書道部、地域の方の写真作品) ・昔遊び(折り紙、お手玉)コーナーの設置 ・キッチンカーの出店 			
(6)総事業費	257,400円	(7)補助金額	60,000円	
(8)評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1 事業目的の達成度	(高)	普通	低い
	2 地域資源の活用度	(高)	普通	低い
	3 地域への貢献度	(高)	普通	低い
	4 財政支援の妥当性	高い	(普通)	低い
5 費用対効果	高い	(普通)	低い	
(9)意見等				
<p>1 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続により、地域にもこの事業が定着してきていると思う。 ・笠井地区の老若男女が一堂に会する機会を提供することで、コミュニティの強化につながっている。 <p>2 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々から構成された団体が自ら企画・運営するイベントであり、地元の人々に親しまれる福来寺を会場としたことで多くの人の来場につながった。 <p>3 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠井地区の住民が自ら企画した、地区住民の郷土愛の醸成に資するイベントとして評価する。 <p>4 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティの維持・強化に資するイベントとして、地域の力で企画・運営できるノウハウが財政支援の結果として蓄積できたと考える。 <p>5 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域住民に愛されるイベントとして発展し、効果がより大きなものとなることを期待する。 				

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	大好き♡笠井文化祭
事業主体名 (共催、後援、協力等)	大好き♡笠井文化祭 実行委員会 (後援、笠井だるま市保存会・笠井共生活動センター・NPOすまいるむら/ 浜松南・星座館・音楽喫茶とらいあんぐる)
実施時期	令和7年6月1日(日) ～ 令和7年11月15日(土)
実施場所	浜松市中央区笠井町252 笠井観音福来寺
参加人数	団体スタッフ 20名、参加者 約3300名
事業の内容	開催日時：令和7年11月3日(日)文化の日 午前10時～午後4時 会場：笠井観音福来寺 境内 内容：特設ページでの地域住民や笠井小学校生徒等による発表 ・笠井について語るトークショー ・だるま会館での作品展示（浜松東高校生徒の書道・写真作品） ・昔 あそびコーナー（折り紙、お手玉等） ・各種出店（しそ巻き、畳コースター等）（キッチンカーコーナー） ※参考にチラシ広告・静岡新聞・中日新聞記事を添付します。
事業目的の 達成度	*当初設定した事業目的の80%近く達成できた。 理由：笠井中学校区の幼稚園・小学校・中学校そして、浜松東高校の園児・児童生徒が、多数参加し、それを見学するために数多くの御家族が来場した。それぞれの世代が、笑顔となり会話も増えた。また、中学生・高校生ボランティアも活躍し、大人とのふれあいを通し、仲良く暮らせる町づくりを達成できた。
地域資源の 活用度	*区内の地域資源として、 (特産品) 松田食品：しそ巻き。高橋畳店：畳コースター等。ノブ島：ロールケーキ。 (文化遺産) だるま市の詩。笠井まつりお囃子。屋台展示。 (人材) 笠井・豊西幼稚園・小学校・中学校・浜松東高校の参加・展示。
地域への 貢献度	*幼稚園児、小学生、中学校・高校生の展示参加、歌唱参加、ボランティア活動。そして、その御家族の見学。各種出店、キッチンカーコーナー等、子供から老人の集まる場所を提供し、笑顔で仲良く暮らせる町づくりを達成できた。 和んで、笑って、輪になってが、体現できた一日となった。
財政支援の 妥当性	*ステージ制作から綿菓子製造・ポップコーン製造まで、全て手作り。 全て地元地域の人々のボランティアで、行政施策との差別化ができた。 補助金は、手作りステージやチラシ広告作成、昔遊びや発表者の景品等に有効活用させて頂いた。
費用対効果	*事業実施により笠井中学区町民等が、約3300人来場し、郷土愛を育んだ。 かかった経費は、妥当だと感じた。

今後の方向性	*今回の開催により、笠井地区を活性化させ、郷土愛を感じる事が出来たので、来年以降も事業を続けていきたい。
備考	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	60,000	60,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	257,400	240,000	17,400		

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
報酬費	○	15,000	30,000		15,000	司会者報酬
需用費	印刷製本費	60,000	52,000	8,000		チラシ印刷 5円×8000枚 デザイン料20,000円
	消耗品	55,310	40,000	15,310		昔遊び等材料 うたごえタイム歌詞
役務費	○	11,090	12,000		910	イベント保険 10,650円・手数料440円
委託料	○	80,000	70,000	10,000		ステージ制作、電気設備、音響、看板
使用料及び賃貸料	○	36,000	36,000			会場使用料及び駐車借上
計		257,400	240,000	33,310	15,910	
うち補助対象経費		257,000				

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 4



＜ 令和7年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1)事業名	地域活性化 健康・福祉の向上イベント	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)											
(3)実施団体名	医療法人社団 岡崎会													
(4)事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の健康意識を高め、感染対策・転倒予防等を啓発する 医療・福祉に対する関心を高め、若い世代にも関心を広げる 地域住民の活性化・社会参加の機会を提供する 人とのつながりを再認識し、コミュニティを活性化する 													
(5)事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> 医療、福祉専門職体験のブースを設け、関心を高めることができた。 地域包括支援センターを利用する敷居を下げる事ができた。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">イベント名</td> <td style="text-align: center;">ありたまスマイルフェス</td> </tr> <tr> <td>実施時期</td> <td style="text-align: center;">令和7年11月9日(日)10:00~15:00</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td style="text-align: center;">ハイマート有玉</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">383名</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋内プログラム: 紙ヒコーキ飛ばし、プラ板キーホルダー作り、ビンゴ大会、レインボーシートアート ステージプログラム: 地域バンドの演奏、医師による「健康長寿の秘訣」講演会 常設ブース: 薬剤師さんの職業体験、栄養相談、筋力測定・マシーン体験、リラクゼーションコーナー、血管年齢測定等 </td> </tr> </table>				イベント名	ありたまスマイルフェス	実施時期	令和7年11月9日(日)10:00~15:00	実施場所	ハイマート有玉	参加人数	383名	内容	<ul style="list-style-type: none"> 屋内プログラム: 紙ヒコーキ飛ばし、プラ板キーホルダー作り、ビンゴ大会、レインボーシートアート ステージプログラム: 地域バンドの演奏、医師による「健康長寿の秘訣」講演会 常設ブース: 薬剤師さんの職業体験、栄養相談、筋力測定・マシーン体験、リラクゼーションコーナー、血管年齢測定等
イベント名	ありたまスマイルフェス													
実施時期	令和7年11月9日(日)10:00~15:00													
実施場所	ハイマート有玉													
参加人数	383名													
内容	<ul style="list-style-type: none"> 屋内プログラム: 紙ヒコーキ飛ばし、プラ板キーホルダー作り、ビンゴ大会、レインボーシートアート ステージプログラム: 地域バンドの演奏、医師による「健康長寿の秘訣」講演会 常設ブース: 薬剤師さんの職業体験、栄養相談、筋力測定・マシーン体験、リラクゼーションコーナー、血管年齢測定等 													
(6)総事業費	358,886円	(7)補助金額	149,000円											
(8)評 価	項 目	ラ ン ク												
		A	B	C										
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い										
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い										
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い										
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い										
	5 費用対効果	高い	普通	低い										
(9)意見等	<p>1 事業目的の達成度 ・初めての開催かつ雨天だったということで、参加者数が計画(400名)に届かなかったが、今回の経験をもとに更なる周知や工夫に期待する。</p> <p>2 地域資源の活用度 ・地域に所在する医療・介護施設が企画し、両施設の医療・福祉の専門職などスタッフ80名が運営したイベントとして評価する。</p> <p>3 地域への貢献度 ・地域住民の健康意識の向上や若い世代にとっても医療・福祉の仕事への関心を高められる事業内容である。</p> <p>4 財政支援の妥当性 ・福祉の向上と地域コミュニティの振興に取り組むイベントは貴重である。 ・事例が共有され、同様の事業が他地域でも開催されれば、市全体の福祉の向上にもつながる。</p> <p>5 費用対効果 ・今回の経験を活かしてより多くの来場者が望めるイベントとなれば、その効果も増大する。</p>													

第10号様式(第10条関係)

事業実績書

事業名	地域活性化 健康・福祉の向上 イベント
事業主体名 (共催、後援、協力等)	医療法人社団 岡崎会
実施時期	令和7年9月1日(月) ~ 令和7年11月30日(日)
実施場所	有玉病院・ハイマート有玉(雨天により、開催場所を変更)
参加人数	スタッフ 80名、来場者 303名
事業の内容	<p>*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。</p> <p>イベント開催日時 令和7年11月9日(日) 10:00~15:00</p> <p>「ありたまスマイルフェス」として開催</p> <p><u>屋内プログラム</u>: 紙ヒコーキ飛ばし、プラ板キーホルダー作り、ビンゴ大会、レインボーシートアート</p> <p><u>ステージプログラム</u>: 栗ポーンカルテット、Dance zone RESPECT. & 朱音コラボステージ、グラスビート、インドネシア舞踊、「健康長寿の秘訣」講演会</p> <p><u>常設ブース</u>: 薬剤師さんの職業体験、栄養相談、筋力測定・マシーン体験、リラクゼーションコーナー、血管年齢測定、キッチンカー(2店舗)・食べ物販売(2店舗)、福祉用具展示、ハンドメイド販売・物販(3店舗)、緑日ブース、フリーマーケット(7店舗)、綿菓子・ポップコーン</p> <p><u>着ぐるみ散歩</u>: 直虎ちゃんが遊びに来たよ(キャンセルがあり、急遽手配する)</p>
事業目的の達成度	<p>*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民の健康意識を高め、感染対策・転倒予防を啓発する→理事長の講演を聞き来場者および当施設の利用者の家族、外来受診者からは健康長寿の秘訣を学べて良かったと多々感想もあり健康意識は高められたと感じる。 2. 医療・福祉に対する関心を高め、若い世代にも関心を広げる→当施設に初めて入る来場者が多く、薬剤師の職業体験や栄養上による栄養相談では若い世代も興味を示していただき、医療・福祉に関心を持ってもらえたと感じとれる。 3. 地域住民の活性化・社会参加の機会を提供する→地域住民の皆様には回覧板等でアナウンスをした。その甲斐あって大勢の地域住民の皆様が来場して下さり、より地域住民の活性化を促す場所を提供できたと考えます。 4. 人とのつながりを再認識し、コミュニティを活性化する→地域住民の皆様が「ありたまスマイルフェス」に来場されたことで、話題性に富みコミュニケーションが活発化されたと感じる。
地域資源の活用度	<p>*区内のどのような地域資源(特産品、自然、文化資産、人材など)をどの程度活用できたか記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関・介護施設等→当院の施設を利用することで地域の皆様の交流の場を提供することができた。

	<p>2. 当施設の会場提供、専門職による体験ブースや講演を通して、福祉の魅力を発信する→専門職による体験ブースや講演により医療・介護・福祉の重要性を感じてもらえたと考える。</p> <p>3. 地域包括支援センター→「ありたまスマイルフェス」を開催したことにより利用者の敷居が低くなり相談しやすくなったのではと考える。</p> <p>4. 商工会・自治会・地域住民団体→「ありたまスマイルフェス」を通して自治会や地域住民団体との交流の橋渡しができた。</p> <p>5. 福祉事業所・就労支援施設→「ありたまスマイルフェス」に参加していただき、製作品の販売、社会参加の場が増えた。</p>
<p>地域への 貢献度</p>	<p>*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。</p> <p>1. 健康意識の低下→講演を聞き、健康に対する意識変化を持った方がいらした。</p> <p>2. コミュニティの分断→「ありたまスマイルフェス」は若年者から高齢者まで幅広く参加できたので世代間の交流のきっかけの場となった。今後の世代間の交流につながればと考えている。</p> <p>3. 福祉人材不足→ありたまスマイルフェスに若年層が参加してくれたことにより、福祉に対する関心がさらに高まったと考えられる。</p>
<p>財政支援の 妥当性</p>	<p>*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。</p> <p>「ありたまスマイルフェス」は健康・福祉の向上イベントとし、行政施策と比べてより医療・福祉の専門性に触れることができた。</p> <p>補助金の活用で必要な物品の準備ができ、来場者を楽しませることができた。</p>
<p>費用対効果</p>	<p>*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。</p> <p>「ありたまスマイルフェス」は初めての開催と雨天ということもあり、地域の皆様に思ったほど周知されなかったかもしれないが、継続していくことで地域に根付く可能性を秘め、十分に効果が期待できると考えている。経費については想定通りであり、大きな問題は起こらなかった。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。</p> <p>今回の反省点を改善し、次年度も地域を活性化できるように工夫し、健康・福祉の向上イベントを継続させていきたい。</p>
<p>備考</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>【入場口付近】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【直虎ちゃん登場】</p> </div> </div>



【フリーマーケット会場】



【健康長寿の講演会】



【高校書道部による題字】

第11号様式(第10条関係)

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	149,000	149,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	358,886	317,879	41,007		

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
				増	△減	
報償費		0	0			
賃金		0	0			
旅費		0	0			
消耗品費	○	252,818	217,839	34,979		<ul style="list-style-type: none"> ・参加賞：42,041円 <ul style="list-style-type: none"> 子供用飲料12,506円 大人用飲料29,535円 ・景品代：114,578円 <ul style="list-style-type: none"> パン20,000円 菓子代33,440円 ケーキ代6,675円 米代18,823円 ポーチ36,640円 ・ポップコーン材料 17,336円 ・わた菓子材料 6,948円 ・ビンゴカード代 2,266円

						<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーヨー釣り 13,501円 ・スタンプ 1,430円 ・スクラッチアート 1,100円 ・射的 220円 ・クリアポケット 5,082円 ・厚紙 1,146円 ・コーヒーサービス 17,899円 ・個別ブース 栄養課：1,323円 (ペーパーカップ332円、 277円、紙スプーン 285 円、紙コップ429円) ・薬局：16,172円 (分包紙7,397円、イ ンクリボン2,376円、菓 子：6,399円) ・ゴミ袋 1,390円 ・養生テープ 550円 ・ビニールテープ 110円 ・リメイクシート 2,200円 ・ラッカースプレー 880円 ・傘袋 1044円 ・レインコート 1100円 ・誘導棒 4,502円
印刷製本 費	○	0	3,200		△3,200	・イベントパンフレッ ト印刷代500部
使用料及 び賃借料	○	106,068	96,840	9,228		<ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーン機 10,388円 ・わた菓子機 5,280円

						<ul style="list-style-type: none"> ・テント 49,500 円 ・重り 13,200 円 ・コードリール 7,700 円 ・音響機器 20,000 円
	計	358,886	317,879	44,207	△3,200	
	うち補助対象経費	358,886	317,879			

※補助対象事業に○を記載してください。

助成事業 No. 5

< 令和7年度 > (中央区 東行政センター)

(1)事業名	あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)											
(3)実施団体名	特定非営利活動法人 積志かがやきカフェ													
(4)事業の目的	今年3月11日で発災15年となった東日本大震災のこれまでや現状、課題をふまえた学び、教訓を可視化して、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震への防災意識の向上、具体的な実践につなげる。													
(5)事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災により被災した小学校の当時の校長による講演を開催し、防災意識を啓発した。 ・防災に関するすごろくの体験を行い、楽しみながら防災を学ぶ機会を提供した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 5px;">イベント名</td> <td style="padding: 5px;">あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">実施時期</td> <td style="padding: 5px;">令和8年3月8日(日)10:00～16:00</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">実施場所</td> <td style="padding: 5px;">積志協働センター</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">参加人数</td> <td style="padding: 5px;">133名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">内容</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「被災地から学ぶ」当時被災した小学校長を講師に迎え、当時の様子、災害から学んだことなどを講演してもらう。 ・「チャレンジ防災」改定した防災すごろく小学校版を使ったすごろく会やグッズづくり、トイレ体験を実施する。 ・「映画上映会」震災後に撮影された映画の上映会を開催し、一人ひとりが今後に向けた対策を模索する。 ・地元出身の演奏家竹内利樹さんによる「鎮魂と未来への夢と希望を紡ぐコンサート」を開催 </td> </tr> </table>				イベント名	あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～	実施時期	令和8年3月8日(日)10:00～16:00	実施場所	積志協働センター	参加人数	133名	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「被災地から学ぶ」当時被災した小学校長を講師に迎え、当時の様子、災害から学んだことなどを講演してもらう。 ・「チャレンジ防災」改定した防災すごろく小学校版を使ったすごろく会やグッズづくり、トイレ体験を実施する。 ・「映画上映会」震災後に撮影された映画の上映会を開催し、一人ひとりが今後に向けた対策を模索する。 ・地元出身の演奏家竹内利樹さんによる「鎮魂と未来への夢と希望を紡ぐコンサート」を開催
イベント名	あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～													
実施時期	令和8年3月8日(日)10:00～16:00													
実施場所	積志協働センター													
参加人数	133名													
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「被災地から学ぶ」当時被災した小学校長を講師に迎え、当時の様子、災害から学んだことなどを講演してもらう。 ・「チャレンジ防災」改定した防災すごろく小学校版を使ったすごろく会やグッズづくり、トイレ体験を実施する。 ・「映画上映会」震災後に撮影された映画の上映会を開催し、一人ひとりが今後に向けた対策を模索する。 ・地元出身の演奏家竹内利樹さんによる「鎮魂と未来への夢と希望を紡ぐコンサート」を開催 													
(6)総事業費	181,650円	(7)補助金額	90,000円											
(8)評価	項 目	ランク												
		A	B	C										
	1 事業目的の達成度	(高)	普通	低い										
	2 地域資源の活用度	(高)	普通	低い										
	3 地域への貢献度	(高)	普通	低い										
	4 財政支援の妥当性	高い	(普通)	低い										
	5 費用対効果	高い	(普通)	低い										
(9)意見等														
<p>1 事業目的の達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災を自分事として捉える機会を提供しており、防災意識の向上に資する。 ・こども向けすごろくの体験はこどもにとって遊びを通じて防災について学ぶ機会となった。 ・こども向けすごろくの体験やコンサートの開催等、多くの参加者が集まるような構成としたことを評価する。 <p>2 地域資源の活用度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積志協働センターを会場とし、追悼コンサートに東地域出身の演奏家及び地元中学校の吹奏楽部が出演するなど、地域の人材を活用した。 <p>3 地域への貢献度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を教訓として、地域住民が防災について考える機会を提供し、自助力を高める大切さを学び、地域住民同士のコミュニケーションの機会ともなった。 <p>4 財政支援の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業は、個人の防災意識の向上のみならず、地域住民の意識の底上げ、協力体制の構築など受援力の高まりにもつながるものである。 <p>5 費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の向上に資するイベントであり、啓発活動の継続が必要になると思う。 ・地域に身近な協働センターでの開催となり、当初の計画通りの参加者数となった。 														

事業実績書

事業名	あの日から15年 ～災害から学び、未来へつなぐ～
事業主体名 (共催、後援、協力等)	特定非営利活動法人 積志かがやきカフェ (東災害ボランティア連絡会、積志地区自治会連合会)
実施時期	令和8年1月5日(月) ～ 令和8年3月19日(木)
実施場所	積志協働センター、積志地区内珈楽庵
参加人数	団体スタッフ12名、参加者 121名
事業の内容	<p>*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 映画「たゆたえども沈まず」の上映会では、震災発生から10年の時間の経過とともに変わる景色と人の営みが参加者の心に刺さり、涙を流す方もいた。 2. 防災すごろく「つなぐ」体験は、こどもから大人まで一緒になって楽しみ、防災の知識を学んだ。眼で見て楽しみながら防災について学ぶことが出来た。 3. 講演会では、柏崎正明さんから当時の緊迫した生々しい状況が語られ、臨場感とともに、災害を自分事としてとらえることができたと思う。積志小と大船渡小のつながりも大切な交流として継続していることも紹介された。 4. 追悼コンサートは、積志町出身の竹内利樹さんをはじめ、地域の小中学生にも出演してもらい、こどもから高齢者まで120名ほどが楽しんだ。震災で亡くなった人を思う気持ちが高まり、最後は復興支援ソング「花は咲く」を歌い、終演となった。 <p>帰りには、感謝に気持ちを込めて、生産者から提供してもらったガーベラを持ち帰ってもらった。</p>
事業目的の 達成度	<p>*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。</p> <p>3月8日のイベント開催日に向けて実行委員会の計画の下、多くの皆さんに会場していただき、東日本大震災から15年の意義と、これから先の自分の防災について考えてほしいと思い開催した。</p> <p>当日は予想を超える人が参加し、感動、そして満足して帰っていただいた。主催側は、達成感を持つことができ、このことから、当初の目的は十分達成できたと考える。「想いをつなぐ、ここからさらに未来に向けて始まる」ことを、一人一人が考える貴重な時間として共有できた。</p>

<p>地域資源の活用度</p>	<p>*区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。</p> <p>防災すごろくのシートに、浜松の防災にかかわりがあり、特色ある地名や場所を載せて、子供たちがすごろくを通して学び、知ることができるように考えた。</p> <p>知らない地名や場所は、二次元コードで詳しく説明を見ることもできる。</p>
<p>地域への貢献度</p>	<p>*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東災害ボランティア連絡会や積志地区自治会連合会の協力、河合楽器製作所の電子ピアノの提供等、地域や企業と協力することで、今まで以上に顔が見える人間関係を築くことができ、災害発生時に備えた体制を構築できると考えている。 2. 地域の中학생ともよい関係ができ、今後ジュニア防災リーダーとして活動できる協力体制ができた。 3. だれもが、災害を自分事としてとらえ、避難や準備等を進んで行えるようになれば幸いである。
<p>財政支援の妥当性</p>	<p>*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。</p> <p>NPO 法人でなければできないことができたと考えている。特に、被災地との継続的な交流、地域の横のつながり等、限られた資金と人脈を使って、自分たちでなければできない事業とすることができた。</p> <p>できれば、50%ではなく全額補助してもらえると当 NPO としては、この上なくありがたい。</p>
<p>費用対効果</p>	<p>*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。</p> <p>少ない経費で、多くの人々が満足し、防災について考えたり興味を持てたりしたことは、十分費用対効果はあったと考える。スタッフとしてボランティアで活動していただいた人が多く、以前からの関係性によるところが大きい。多くの人々の善意に支えられた事業として、成功裏に終了することができた。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。</p> <p>15年の節目として、今回のような大きなイベントを開催したが、来年度以降は、できることを地道に進めていきたい。</p>
<p>備考</p>	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	90,000	90,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	181,650	181,000	650		

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)	
				増	△減		
報償費	○	70,000	70,000				
旅費	○	20,000	16,000	4,000		東京-浜松往復旅費 16,880円 タクシー代3,120円	
需用費	映画上映費	○	51,150	83,000		△31,850	基本料金30,000円 観覧料500円×33人 16,500円 (30,000+16,500)×1.1=51,150円
	製本費	○	31,380	4,000	27,380		チラシ印刷9,510円、プログラム印刷3,569円、デザイン料18,301円
役務費	ボランティア保険	○	0	5,000		△5,000	
	使用料	○	9,120	3,000	6,120		積志協働センター借用代
	計		181,650	181,000	37,500	△36,850	
	うち補助対象経費		181,650	181,000	37,500	△36,850	

※補助対象事業に○を記載してください。